

## 新入社員研修実施状況の報告

9月28日から2泊3日の行程で、新入社員現場研修を実施しました。

今回の研修は、露頭や災害箇所などの見学により地盤に関する技術者としての見識を広め、施工現場の見学により我々の業務がどのように施工へとつながっているかを知ることが目的として、地質の見方、防災に関する知識、最新の施工状況を学んできました。

### <1日目>

#### ①秋田大学鉱業博物館

全国の地質分布や地質構造や地質の成り立ちを学びました。



#### ②男鹿半島の地質巡検

褶曲した地層や岩脈をクリノメーターで計測し図示する実習などを行いました。



## <2日目>

### ③成瀬ダム施工現場

国内最大の台形CSGダムにおける自動化施工管制室「KAJIMA DX LABO」や掘削のり面を見学し最新技術や施工現場の留意点を学びました。



### ④ダム地質調査の講義

鹿島建設の方に施工状況や留意点等を講義頂くとともに、ダム地質調査についての講義を行いました。



## <3日目>

### ⑤陸前高田市東日本大震災津波伝承館

甚大な津波被害を受けた市内の復興に向けた防潮堤や宅地かさ上げ事業などの対策を見学するとともに、我々の社会貢献活動について学びました。



⑥気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

地元のボランティアの方から、津波による甚大な被害状況や身の安全を確保するための災害時の行動のあり方を学びました。

津波で破壊された校舎を見ることで、津波の怖さと防災について考えるきっかけとなりました。

